

講座・講演会報告

2014年度女性への暴力ゼロ運動特別講座

「HOME～若年女性への『搾取』という暴力の現状を考える～」

平成26年11月22日(土) 14:00～16:00 ムーブ5階 小セミナールーム

みなさんは「JK産業」という言葉をご存知ですか？JKとは女子高生の略称で、彼女たちが男性と二人きりになって、マッサージや道案内など、さまざまなサービスをするというアルバイトの総称です。実は性的なサービスをオプションで求められたり、性被害に遭ったりする非常に危険な仕事なのですが、安全であるといううたい文句に騙され、日払い制で、自分のスケジュールに合わせて出勤できるという点から、この産業へと足を踏み入れてしまう少女たちが、今とても多いのです。

今年度の女性への暴力ゼロ運動特別講座では、この若い女性に対する搾取という暴力について考える講座を開催しました。



【講師】
女子高校生サポートセンター・
一般社団法人Colabo 代表理事

仁藤 夢乃 さん

講師の仁藤さんが立ち上げた女子高校生サポートセンター・一般社団法人Colaboでは、「すべての少女に衣食住と関係性を」を活動指針に、家にも学校にも居場所がなく、社会的に孤立している少女たちがJK産業に足を踏み入れないよう、支援をしています。

このような産業に対して、買う男性と売る女性という、需要と供給が成り立っているからなくなるならないと言う人がいますが、仁藤さんは「少女たちを売りたい大人と、少女たちを商品として売りたい大人との間の需要と供給にほかならない」と、子どもたちが自分の意思でやっているという誤った世論に警鐘を鳴らしました。

JK産業は、児童虐待や家庭内不和など、自力ではどうすることもできない問題を抱えて困窮している少女たちに付け込み、「行くところがないならおいで」という甘い言葉で誘い出します。そして彼女たちを商品として売る傍ら、相談に乗ったり、勉強を教えたりして、本来ならば行政や福祉が担うべき支援のようなことを行い、少女たちを取り込んでいます。

JK産業は大都市だけの問題ではありません。この北九州市でも、私たちの目を盗んで少女たちが商品として扱われています。少女たちが搾取の対象にならずに、安心して生活するためには、少女たちを買う大人、商品として扱う大人に負けないよう、今一度、社会が少女たちと向き合う必要があるのではないのでしょうか。

居場所がなくても地域が少女たちの「HOME」となるために、私たちには何ができるかを改めて考える機会となった講座でした。

おとこのライフセミナー

鳥越俊太郎さん講演会 「鳥越流ポジティブな人生の歩き方」

平成26年9月27日(土) 13:00～14:30 ムーブ2階 ホール

今年の「おとこのライフセミナー」は、特に中高年代の男性に人生をポジティブに生きるヒントを得ていただくような場にしたいと、ガンと闘った経験から、前向きに生きることや挑戦する人生の楽しさを発信している鳥越俊太郎さんに「ポジティブな人生の歩き方」をお話していただきました。



【講師】
ジャーナリスト

鳥越 俊太郎 さん

自分の年齢を最初に感じたのは、一生付き合わないといけないうメニエール病になってから。耳鳴りや難聴、めまいに苦しめられ、死にたいとすら思ったこともあったが、病気と付き合い合えないといけないう、聞こえないものは聞こえないというふうに関き直ると、急に楽になった。

ステージ4の大腸ガンにもなったが、自分の免疫力の高さで克服した。ガンになっても、またならないためにも、免疫力を高く保つこと、そして明るく笑顔を常に絶やさない生活をするのが大切。

「何事も折れないようにちゃんと真正面で受け止めて、一生付き合っていく覚悟をする」とそれなりに道はある」これが今日みなさんに一番伝えたいことである。

ムーブ相談室から

グループ相談紹介

ムーブ相談室では、テーマに関心を持ち集まった人同士で、自分の気持ちを大切に、他者の価値観を尊重しながら話し合いをするグループ相談を企画、開催しています。

昨年度は「自分らしく生きる」「秋の宵のグループ相談～コミュニケーションが苦手だと感じているアナタへのお誘い～」という2つのテーマで、今年度は「対人援助職者のためのグループ相談～自分にもとれる大切なひとときを～」と「今、生きかた見直しどき～人生の終わりにまでやっていきたいこと～」という2つのテーマで、それぞれ全8回のグループ相談を行いました。終了後は自分たちで運営する自助グループとして活動を継続しているグループもあります。

そのほかにも、講座「性同一性障害について考える」の受講生や、福島原発事故による避難者が立ち上げたグループなども加わり、現在6つの自助グループが活動しています。

ムーブでは、そういった自助グループに活動場所の提供等の支援を行っています。ご興味のある方は、ムーブ相談室(TEL. 093-583-5197)までお問い合わせください。

自助グループのひとつをご紹介します

自助グループ「つながるゆかいな仲間たち」は、福島第一原子力発電所事故により東日本から避難・移住して来られた方が中心となり、平成25年6月にスタートしました。3.11後の日本で少しでも安心して暮らしたい、放射性物質の危険から身を守り、子どもたちの元気な成長を実現していきたい。そう願う避難・移住者、そして地元の人に加わり、月1回のペースで集まっています。

いつものメンバーが集まれば、前回の続きや近況を語り、あっという間に時は過ぎていきます。初めての方が参加されると、3.11 当時どこでどのように過ごしたか、避難・移住を決めた経緯など、当時の体験を言葉を選ばずに素直な気持ちで語る時間になることも少なくありません。

一口に避難・移住者といっても、抱えている事情は人それぞれ。事故直後に東日本を離れたか否か、一家揃っての移住か母子避難か、子どもの健康状態、仕事の有無、家族とりわけ夫の理解の有無…、加えて、日々の暮らしで気を付けていることも各家庭で異なるため、みんな同じは、たとえ避難・移住者同士であってもありえないのです。

グループでは、互いの違いに自覚的な方が多いからなのか、「メッセージ」が基本。「うちではこうしてるよ」、「私はこう思うんだけど…」。毎回、そんな言葉で会話が広がっていきます。そして、もう一つの特徴が「確認」。子どもを連れていてお菓子をいただくことも少なくありませんが、原材料や産地、製造地などを確認し、納得してからでない子どもに食べさせたくないという人もいます。それを尊重した形が、「こ

れ、〇〇産の△△だけで、あげても大丈夫？」といった確認の言葉。こうしたメンバー同士の小さな配慮と尊重が、グループを居心地の良い場にしてくれているようです。

当初は、慣れない地での戸惑いや、考えが異なる人との付き合い方など、時に切実なテーマもありましたが、最近では、子どもの進学や親の就職などの話題も増えてきました。歩みを止めない日常とそれに伴い変わりゆく様々な思いや考えを、のんびりした雰囲気の中で自由に口にし合い、情報交換し、またそれぞれの暮らしに戻っていく日々です。

「お互いの違いを尊重し合ってつながることで、ほっとしたり、元気になれる、日々のあれこれ乗り越える力を養っていきたい。」そんな願いを共有してくださる方は、いつでも大歓迎。気楽に立ち寄りくださいな。



北九州まなびとESDステーション ガーベラプロジェクト 活動報告



LOVECOUPLING!!!

平成26年10月11日(土) 14:00~16:30
まなびとESDステーション

昨年に引き続き、第2弾。今回のテーマは「結婚」。結婚後の仕事や子育てについて参加者間で意見交換をすることで、新しい価値観などを発見できた様子でした。



ESD大学生による 「明日への伝言板」特別番組

平成26年10月11日(土) 16:00~16:30放送

人権を考えるラジオ番組「明日への伝言板」の特別番組として、30分間のラジオ番組を制作しました。デートDVと性同一性障害の2つのテーマに沿って、企画から取材、ラジオ収録まで行いました。PR活動ではテレビ出演も経験し、さらに活動の場が広がりました。



Colors~私達が考えるレインボーワールド~

平成26年12月21日(日) 14:00~16:30
まなびとESDステーション

セクシャルマイリティ(性的少数派)に関する日頃の悩みや疑問、知って・話して・考えるイベントを開催しました。

実は身近な問題でも、なかなか知る機会が少ないこの問題について実際に当事者の方にも参加していただき話し合うことで、多様な性と生を見つめ直すよい機会となりました。

(公財)アジア女性交流・研究フォーラムからの報告とお知らせ

●国連ジェンダー統計専門家会合および「第25回アジア女性会議—北九州」を開催

当財団で初めて国連会議の講義を行い、12月3日から5日までの3日間「国連ジェンダー統計専門家会合」をムーブで実施しました。その専門家会合を踏まえ、「女性の働き方としての起業」と題して「第25回アジア女性会議—北九州」を開催し、国連会合の国連ジェンダー統計専門家の方々も参加して、より国際色豊かな女性会議となりました。

「第25回アジア女性会議—北九州」では、基調講演として、女性の起業を統計的に把握する国際的な取り組みについて国連の大崎敬子さんに講演いただき、バンラデシュの自社工場で生産したバッグなどを国内外で販売している(株)マザーハウスの山口絵理子さんより、女性起業家としてのストーリーを紹介していただきました。続くパ



国連ジェンダー統計専門家会合の様子

「第25回アジア女性会議—北九州」の様子

(公財)アジア女性交流・研究フォーラムが管理運営を行っております。

男女共同参画の重要性を大学生の目線から発信していく、ガーベラプロジェクトの活動も今年で2年目になりました。ムーブフェスタのイベントや広報活動に加え、今年は新たな活動にも挑戦しました。

北九州市子ども家庭局男女共同参画推進課からのお知らせ

第8回「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」受賞企業等決定!!

少子高齢社会において、子育てしやすく、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働で取り組むべき重要な課題です。そこで、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に取り組む企業・団体・個人を表彰し、その取組内容を広く市内企業や市民の皆さまに紹介していきます。

この度、平成26年度、第8回の表彰企業等を下記のとおり決定し、去る11月17日北九州市立男女共同参画センター・ムーブにて表彰式を行いました。

企業・団体部門

個人部門



市長賞

社会福祉法人 龍玉会 洗心保育園

児童福祉事業 小倉南区大字貫795-1
従業員数 26人(うち女性26人)

職員の満足度を高め、長く働き続けられる環境整備により人材不足を解消。



奨励賞

社会福祉法人 もやい聖友会

社会福祉事業 八幡西区森下町27-38
従業員数 68人(うち女性49人)

子育てしながら働きやすい職場環境の提供と職員にやりがいをもたらす地域貢献活動。



奨励賞

株式会社 北九州銀行

金融業 小倉北区堺町1丁目1-10
従業員数 598人(うち女性255人)

労働時間短縮のための徹底した取組みと男性行員の子育て参画促進

【お問合わせ】 北九州市子ども家庭局 男女共同参画推進課
TEL. 093-582-2405



奨励賞

森 豪さん 会社員

働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを推進するための勉強会や講座を開催。



奨励賞

篠原 艶子さん 薬剤師

子育て、介護、仕事、家事、地域活動のそれぞれを楽しみながら実践。



第13回福岡県男女共同参画表彰に 北九州市から選ばれました!

福岡県男女共同参画表彰は、男女共同参画の推進に著しい功績があり、地域や職域における県民の皆さんの取り組みの模範となる活動を行っている企業、団体、個人を表彰するものです。このたび決定した受賞者の中から、北九州市の受賞者を紹介します。

《女性の先駆的活動部門》

ガルヴァ助産院 助産師 嶋井 元子さん

〈助産師として、地域や海外で幅広く活動〉

平成17年に自身の助産院を開業し、24時間対応で妊婦と胎児の健康を見守る診療に取り組む傍ら、平成19年から、北九州市内で乳児家庭全戸訪問など母子保健事業を通じた地域支援活動や、小中学校の子どもたちに命の尊さを伝える思春期教育の活動を行ってきた。

平成22年から平成25年までに4度、アフリカ・スーダンに、助産師としては日本人唯一の短期専門家として渡航し、アフリカの過酷な環境のもと、妊婦健診や出産等の現状を視察、現地の村落助産師への助言・指導や講演を行ってきた。村落助産師の技術向上や診療所と村落助産師の連携を提案し情報共有を進めるなど、現地の母子保健環境の向上に大きく貢献している。



全国女性会館協議会 第8回事業企画大賞奨励賞受賞

全国女性会館協議会事業企画大賞は、男女共同参画社会の実現に向けて全国の女性関連施設で多数実施されているユニークな事業に対して授与されるものです。昨年度ムーブが実施した「ケアメン養成講座&啓発冊子「男の介護 そして、ケアメンになる。」」が全国女性会館協議会第8回事業企画大賞奨励賞を受賞しました。



東部勤労婦人センター レディスもじ

《開館28周年記念講演会》

今、共生の時~ひととひとが共に生きる社会~

「書く」だけでなく、「行動する」(社会派作家としておなじみの落合恵子さんに、女も男も自分らしく生きる社会についてお話していただきます。

- 日時 平成27年4月18日(土) 13:30~15:00(12:30開場)
- 講師 作家・クレヨンハウス代表・東京家政大学特任教授 落合 恵子さん
- 定員 300名(先着順) ■参加費用 無料
- 託児 あり(1歳以上就学前まで) ※要申込
- 申込方法 3月3日(火)9:00から
電話または来館にて受付。



お名前 けいこ
落合 恵子さん

【お申込み・お問合わせ】
〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL.093-371-4649 FAX.093-371-4268
詳しい日程等についてはHPをご覧ください。
【HP】 <http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji/>

西部勤労婦人センター レディスやはた

《開館38周年記念講演会》

柔道一直線~強くやさしい社会を実現するために~

ソウル五輪メダリスト山口香さんに、女子柔道の先駆者として活躍し自らの人生を切り拓いた歩みをもとに、性別や年齢にとられない生き方をお話していただきます。

- 日時 平成27年5月23日(土) 13:30~15:00(13:00開場)
- 講師 柔道家・筑波大学体育系准教授 山口 香さん
- 定員 200名(先着順) ■参加費用 無料
- 託児 あり(1歳以上就学前まで) ※要申込
- 申込方法 4月4日(土)9:00から
電話または来館にて受付。



やまぐち かおり
山口 香さん

【お申込み・お問合わせ】
〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番6号
TEL.093-661-1122 FAX.093-661-2714
詳しい日程等についてはHPをご覧ください。
【HP】 <http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata/>

平成27年度 おすすめ講座紹介

働くなでしここに贈る!

お役立ちワンポイントセミナー

毎月1回違うテーマで働く女性に役立つ講座を行います。

1回だけの参加もOK。お気軽にご参加ください。

例) 接遇マナー、コーチング、カラーコーディネートなど

■開催時期 毎月1回 ※7月を除く ■定員 講座ごとに設定

■対象 働いている女性、またはこれから働きたいと思っている女性

■受講料 講座ごとに設定

(4月)4月25日(土) 13:00~16:00「心を動かす! ビジネスプレゼンテーション講座」

(5月)5月12日、19日、26日(火) 19:00~20:30(3回講座)「ストレスケアの処方箋」



よくばり女性のための

キャリアアップ&ビューティー講座

メイクやコミュニケーション術など内面も外見も輝く女性になるためのカリキュラムで、働く女性の今後のキャリアアップに役立つ講座です。

■開催時期 6月6日~27日 毎週土曜日10:00~12:30(全4回)

■定員 16名(抽選) ■託児 あり

■対象 おおむね20代~40代の働いている女性 ■受講料 4,000円

エプロン男子【初級編】

料理初心者のために包丁の使い方や材料の切り方など基礎から学びます。

■開催時期 第1期 4月25日(土)、5月16日(土)、30日(土)、6月13日(土)
午前の部10:00~13:00 午後の部14:00~17:00

■定員 各16名(抽選) ■託児 あり ■対象 料理初心者の男性

■受講料 5,000円(4回分の材料費、エプロン代込)



NEW!

近日発行予定

●ムーブ叢書 北九州市の男女共同参画統計データ集 2014

●北九州市における女性活躍推進実態調査報告書



〒803-0814
北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL. 093-583-3939
FAX. 093-583-5107

【HP】 <http://www.kitakyu-move.jp/>
【E-mail】 move@move-kitakyu.jp

アクセス	●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【小倉駅バスセンターから】
	27 45 110 134 138 13-1
	【小倉駅入口から】
	71 76 79 150 170 175 197
●西鉄高速バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【天神バスセンターから】	いとづ号
●JR西小倉駅より徒歩15分	
●北九州市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分	

公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者